

2016~2017年度

ROTARY INTERNATIONAL

第2770地区 大宮東ロータリークラブ 週報



『楽しいロータリークラブ・やりがいのあるロータリー活動』

RIテーマ
人類に奉仕する
ロータリー

平和と紛争予防・
紛争解決月間

例会日	毎週水曜日	事務局	さいたま市見沼区東大宮	会 長	河本 博
時間	12:30~13:30	TEL	5-50-9-B-2	幹 事	小林 聡
例会場	武蔵野銀行 東大宮支店	FAX	048-685-0145	クラブ強化	
創立	1978年10月28日	Eメール	omiya.e.rc@nifty.com	常任委員長	三枝和男
		http://www.omiyaeast-rc.jp/		広報委員長	岡田悦行

点鐘 河本 博会長 ソング 手に手つないで
ピジター & ゲスト

- ◆根岸晃様(栄東高等学校・インターアクトクラブ顧問)
- ◆荒井賢一様(栄東高等学校・理科研究部顧問)
- ◆張瀛様(2016~2017年度韓国研修学生・栄東高等学校インターアクトクラブ)
- ◆今井旅生様・斎木悠亮様・田中健太様

・広川周作様・長澤啓太様(栄東高等学校・理科研究部)

会長挨拶 河本 博 会長



皆様、こんにちは。栄東高等学校の皆様、ようこそいらっしゃいました。後ほど、ご挨拶また研究発表をお願いいたします。さて、本日の会長挨拶は、二つの御礼の話となります。最初はIMの御礼です。後程、千代邦夫実行委員会委員長よりお話があるかと思いますが、私は会長の立場で御礼申し上げます。グループ最大のイベントでありますIMが2月16日に開催され、大変な好評を得て終わることが出来ました。IMの成功は、清水伸洋第4グループガバナー補佐、千代邦夫実行委員会委員長のリーダーシップの下、良質な企画、用意周到な準備と当日の行動にあったものと思います。とりわけホストクラブである大宮東ロータリークラブの皆様には遅くまで大変お世話になりました。有難うございました。次に10日~15日までの5日間における韓国IAC訪日団の受入について御礼申し上げます。5日間ホームステイをお引き受け頂きました高橋洋文副幹事をはじめ、東京見学や夕食会、歓迎会など、外国の青少年育成と交流に対応して頂きました皆様へ御礼申し上げます。また今年は栄東高等学校の根岸先生のご尽力により同校を訪問する機会を作っていただきました。田中校長先生自らお茶とクッキーをご用意され、約10分ほどご歓談いただきました。また、IACの皆様にはダンスと演奏による歓迎セレモニーを、また校内を案内して頂く等、例年以上に交流を深めることが出来ました。田中校長先生、根岸先生、また栄東高校IACの皆様へ感謝申し上げます。そして日本に、栄東高等学校に、大宮東RCに好印象を持たれ、病氣もせず、5日間を楽しんで帰国されたことが何よりでした。今度は3月25日から訪韓する張さんが、自分の目で韓国を知り、ホームステイ先に可愛がられ、そして韓国の高校生との交流を深めて、元気で



帰国されることをお祈りしています。楽しんでみてください。このあと、栄東高等学校・理科研究部の皆さんによる芝川水質調査の研究発表があります。このような研究は地味ですが、なくてはならない必要な活動であり継続することが重要です。今、中国北京の大気汚染の凄さが伝わってきますが、日本でも今から50年位前は、川崎や三重県の四日市工業地帯などでは大気汚染により多くの人が喘息にかかるほど大気汚染がひどかったです。また水俣や新潟などでは工場排水が海や川に流れ、そこに住む魚を食べた人がお亡くなりになったり、一生獲れたまの魚がたくさんおり、今も裁判が続いています。環境優先か、健康優先か、企業の成長が優先かについて論じることは控えますが、何事も継続して統計分析して少しの変化を見つけたら、原因が判明したら早く対策を講じることが必要かつ重要です。そのためにも皆さんの活動は大変重要であり、引き続き頑張ってください。最後になりますが、後ほど、結婚・入会、誕生祝いを執り行います。これからも健康に留意され、ご活躍されますよう、ご祈念申し上げます。本日の会長挨拶といたします。本日もよろしくお祈り致します。

幹事報告 高橋 洋文 副幹事



- 3月15日(水)は優良施設見学研修訪問です。皆様のご参加をよろしくお祈りいたします。
- 4月14日(金)はポリオ撲滅チャリティゴルフです。ホストクラブとなりますので皆様のご参加、ご協力をよろしくお祈りいたします。
- 3月の例会当番、ドア監視当番、ペットキャップ回収当番の会員の皆様よろしくお祈りいたします。

2月の誕生祝・結婚祝・入会祝



☆☆誕生祝☆☆☆
山田 崇一 会員 15日
☆☆結婚祝・入会祝☆☆
平沼 邦康 会員 22日
橋 基之 会員 27日

おめでとう
ごさいます

委員会報告

IM実行委員会 千代邦夫委員長

IMでは会員の皆様、瀬田グループ幹事、IM実行委員の皆様のご協力をいただき盛大に無事開催することが出来ました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

出席報告 田中秋弘委員長

月日	総員	出席	猶予	欠席	MU	%
2/22	45	23	8	22	0	56.10
前回	45	30	8	6	9	90.70

スマイルBOX報告 堀口勝三委員

◎栄東高等学校の皆様ようこそいらっしゃいました。張さん、韓国研修気をつけて、色々な体験をしてきて下さい。理科研究部の皆様、発表よろしくお祈りいたします。

- *橋基之委員長：結婚祝いありがとうございました。
- *片柳高会員・河本博会長・瀬田雄一グループ幹事・千代邦夫IM実行委員長・山田崇一会員
- *金子登会員・三枝和男副会長
- *金子浩万会員・金子泰夫会員・小嶋敦右会員・茂田雅良会員・鈴木八郎会長エレクト・高田照久会員・高橋洋文副幹事・田中秋弘会員・中内誠道前会長・堀江敏一会員・堀口勝三会員・吹田充会員・山田雅明会員・山田康博会員・横田勝美会員・渡部正司 SAA

ご協力ありがとうございました。
24件40,000円合計997,739円

韓国研修抱負 張 瀛 様



この研修では日常から離れて様々な体験をすることが出来るので色々な事を学んで身につけて帰ってきたいと思っています。まず、韓国の家庭の生活を学びたいと思います。日本との違いなども知りたいと思います。言語以外のコミュニケーションの取り方の特徴はどのようなものか。これからのグローバル化で言語以外のコミュニケーションも大切になると思います。韓国の方々と積極的に交流することで増っていききたいと思っています。学校訪問も楽しみにしています。ホームステイなどで韓国の文化を体験し、一つ一つを大切にしながら楽しみたいと思います。今後の生活に役立っていききたいです。ありがとうございます。(研修費授与)

卓話 栄東高等学校・理科研究部



『2016年度芝川の
総力調査』
今年度の水質調査は半日
通して砂大橋で2時間おき
に12時間、7月31日と
8月1日に行い、短いスパン
で区切ってみました。水温は
気温を追随するようにして
変化しました。DO(溶存

酸素量)両日も変遷の「型」が似ていました。COD(化学的酸素要求量)は2日とも「型」が異なっていました。このことは日照との関係性は考えにくく、予測としては上流から流れてくる水自体が変動した可能性が考えられます。新たな発見がありました。それを立証するための情報量の少なさ、不十分さというものを実感しました。生息生物の調査はタモ網、セル瓶、もんどり等を使用しました。タモ網は1セットにつき3分間時間を測って計3~5人で行います。セル瓶は生物がいそうな場所に沈め、1時間後に引き上げました。全体的な生物の傾向は全ての調査地点でモツゴを捕獲しました。芝川の各地でモツゴが定着しています。外来種のアメリカジガニ26匹やカダヤシ60匹を捕獲しました。道三橋でメダカを多数目視しましたが放流によるものかもしれません。第一調節池でブルーギルを捕獲しました。流域各所で生息の可能性があります。第7調節池ではナガエビが減り、スズエビがいなくなりかわりに外来のヌマエビが多くなりました。多様な生物がすみやすい環境にある。外来種も生息している。次年度は第7調節池のエビについて重点的に調査する。水質と生物の相関性を調べるためプランクトンを調査した。プランクトンネットを使用し顕微鏡で記録集計をしました。道三橋、第7調節池は動物・植物プランクトン共に観測されたが、砂大橋は観測されなかった。反省点はプランクトンネットが使いこなせなかった、数を計測する器具がなかった、計測したプランクトンの種類が正確に特定できませんでした。砂大橋でプランクトンが観測できなかったのは透視度と関係性があると考えます。事前準備が不足していたので来年はしっかり準備します。清掃活動調査は地域の方々を行いました。ポイ捨てによるごみが多い、家具の不法投棄もかなり行われているようです。乗り捨ての場になっている所もあります。この現状を知られていないのではないかと思います。流域アンケート調査を実施しました。回収率は71%(結果は別紙参照)。以前よりは、川全体はよくなっているが、改善点はたくさんあります。汚いと感じる人も多です。全体のまとめとして半日調査は変化の激しい項目を発見したので今後は調査時間を長くして情報量を増やします。生息生物は一年でエビの種類が変化しました。その要因と変化の規則性を重点的に調査します。プランクトン調査では調査方法の再確認と透視度との相関性について調査します。清掃活動は関心が低い、ごみの現状が正確に把握されていない可能性があるため関心を向けてもらえるように今まで以上にアピールをしていきます。アンケート調査は回答率は増えて、改善点が多く見つかりました。継続的にアンケートを行いつつ改善していきます。本日はこのような機会を与えていただきありがとうございます。(助成金授与)